

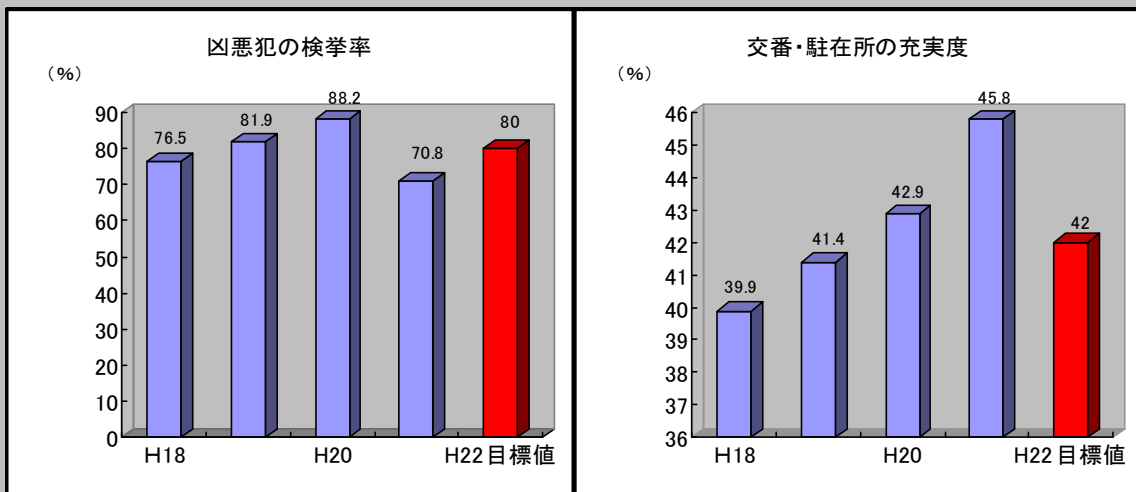
施策名	県民の安全を守る活動基盤の整備
-----	-----------------

○目的（対象、意図）

捜査支援システムや警察署、交番・駐在所等の拠点など県民の安全な生活を守る活動基盤が、多様化・複雑化かつ、高水準で推移する犯罪に対応できるように整備されている

○施策の目標

目 標 項 目	目 標 数 値 等	
凶悪犯の検挙率	目 標 値	22年
		80%
	現 状 値	21年
		70.8%
交番・駐在所施設の充実度（相談室・ バリアフリー）	目 標 値	22年
		42%
	現 状 値	21年
		45.8%



○平成21年の業務ごとの取組み、成果とコスト

業務の取組みと成果	平成20年事業費(千円)	平成21年事業費(千円)
【警察施設の整備】 地域の「生活安全センター」としての機能を一層高めるため、3交番5駐在所の建替整備を行った。 松阪警察署、津南警察署は庁舎建設・改修工事が終了し供用を開始した。 また、地域防災拠点として桑名警察署、伊勢警察署、紀宝警察署の非常用発動発電機の改修工事を行い機能の充実を図った。	2,473,635	2,238,492
【情報管理業務の推進】 情報管理業務を推進するため、老朽化した警察WAN端末359台の更新整備を行った。また、道路交通法の一部改正（認知機能検査の導入、運転免許の欠格期間の延長等）に伴い、総合運転者管理業務のシステム改修を行った。 情報セキュリティ教養及び全所属に対する監査・業務指導を通じて情報セキュリティの推進を図った。	290,126	292,910
【装備資機材の整備】 変化する社会情勢、犯罪情勢に対応するため、精強な第一線警察の構築に重点を置き、機能性の高い装備資機材を整備するとともに、災害活動に有効な資機材を整備するなど、警察装備の充実を図った。	663,611	577,141

○業務評価を踏まえた総括評価

・目標達成に向けた平成21年の取組みと成果

- 社会構造の変化などにより凶悪化・広域化・組織化の一途をたどる犯罪情勢に対応するべく、
 - ・ 交番・駐在所の建て替え整備・新設
 - ・ 犯罪捜査、防災活動の拠点となる警察署の建て替え整備・機能充実
 - ・ 警察活動のＩＴ化による業務の合理化・効率化
 - ・ 犯罪に毅然と立ち向かうために必要不可欠な装備資機材の整備充実などを推進し、活動基盤の一層の強化を図った。

・残った課題とその要因

- 県内の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに6年連続で減少したものの、平成21年3月以降、増加に転じ、25,540件（前年比+192件）となった。その中でも車上ねらい、自転車盗等の県民の身近なところで発生する街頭犯罪などが多発し、また、女性・子どもへの声かけ事案も多発するなど、県民の不安を十分に解消するには至っていないことから各種の警察活動基盤を整備充実させ、第一線警察活動の強化を図ることが課題である。

・課題を踏まえた平成22年の取組み

- 厳しい犯罪情勢に的確に対応し、警察署、交番・駐在所等が地域の治安拠点として十分に機能を発揮するよう、警察施設の建て替え整備・新設を始め、装備資機材の整備充実、警察活動のＩＴ化による業務の合理化・効率化を図り、警察活動の一層の強化に努める。